

**仙台塩釜港** (仙台港区・塩釜港区)

東北運輸局	〒983-8537	仙台市宮城野区鉄砲町1	仙台第4合同庁舎	☎022-299-8851
東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所	〒985-0843	多賀城市明月1-4-6		☎022-362-6211
横浜税関仙台塩釜税関支署	〒983-0001	仙台市宮城野区港3-1-3	仙台港国際ビジネスサポートセンター(アクセル)	☎022-259-4306
仙台検疫所	〒985-0011	塩釜市真山通3-4-1	塩釜港湾合同庁舎	☎022-367-8100
第二管区海上保安本部	〒985-8507	塩釜市真山通3-4-1	塩釜港湾合同庁舎	☎022-363-0111
宮城海上保安部(仙台塩釜港長)	〒985-0011	塩釜市真山通3-4-1	塩釜港湾合同庁舎	☎022-363-0114
横浜植物防疫所塩釜支所	〒985-0011	塩釜市真山通3-4-1	塩釜港湾合同庁舎	☎022-362-6916
動物検疫所仙台空港出張所	〒989-2401	名取市下増田字南原	仙台空港ターミナルビル	☎022-383-2302
仙台出入国在留管理局	〒983-0842	仙台市宮城野区五輪1-3-20	仙台第2法務合同庁舎	☎0570-022259
仙台管区气象台	〒983-0842	仙台市宮城野区五輪1-3-15	仙台第3合同庁舎	☎022-297-8100
(公財)宮城県フェリー埠頭公社	〒983-0001	仙台市宮城野区港3-7-1		☎022-254-3001
仙台臨海鉄道(株)	〒983-0001	仙台市宮城野区港4-11-2		☎022-258-5211
仙台湾水先区水先人会	〒985-0011	塩釜市真山通1-8-35		☎022-781-7246
仙台港区VTISセンター	〒983-0002	仙台市宮城野区蒲生字町105	高砂コンテナターミナル管理棟	☎022-357-0701
仙台東警察署	〒983-0041	仙台市宮城野区南目録21-1		☎022-231-7171
塩釜警察署	〒985-0003	塩釜市北浜4-6-41		☎022-362-4141
仙台市宮城野消防署高砂分署	〒983-0014	仙台市宮城野区高砂1-30-15		☎022-258-0900
塩釜地区消防事務組合	〒985-0021	塩釜市尾島町17-22		☎022-361-0119
(一社)日本海事検定協会仙台事業所	〒985-0874	多賀城市八幡3-11-3	ニューわだやビル2階	☎022-367-0151
(一社)全日検東北支部	〒985-0011	塩釜市真山通3-4-5		☎022-366-1111
(一社)日本貨物検数協会	〒983-0001	仙台市宮城野区港4-12-12		☎022-259-5715
(一財)日本穀物検定協会東北支部	〒983-0842	仙台市宮城野区五輪1-17-46		☎022-257-0804
全日本港湾労働組合塩釜支部	〒985-0011	塩釜市真山通1-6-36		☎022-363-1960

**●宮城県仙台塩釜港湾事務所**

〒983-0001 仙台市宮城野区港三丁目1番3号  
 仙台港国際ビジネスサポートセンター(アクセル)5階 ☎022(254)3131

**仙台塩釜港** (石巻港区)

東北運輸局石巻海事事務所	〒986-0845	石巻市中島町15-2	石巻港湾合同庁舎	☎0225-95-1228
横浜税関仙台塩釜税関支署石巻出張所	〒986-0845	石巻市中島町15-2	石巻港湾合同庁舎	☎0225-22-4649
横浜植物防疫所塩釜支所石巻出張所	〒986-0845	石巻市中島町15-2	石巻港湾合同庁舎	☎0225-95-0261
仙台検疫所石巻出張所	〒986-0845	石巻市中島町15-2	石巻港湾合同庁舎	(ご連絡は仙台検疫所へ)
宮城海上保安部石巻海上保安署(石巻港長)	〒986-0845	石巻市中島町15-2	石巻港湾合同庁舎	☎0225-22-8088
東北地方整備局石巻港出張所	〒986-0874	宮城県石巻市双葉町6-42-10		☎0225-94-1643
東北地方整備局北上川下流河川事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新下沼80		☎0225-95-0194
日本貨物鉄道(株)石巻営業所	〒986-0836	石巻市南光町2-222		☎0225-95-2763
石巻地区広域行政事務組合消防本部	〒986-0805	石巻市大橋1-1-1		☎0225-95-7111
一般社団法人石巻植物検疫協会	〒986-0859	石巻市大街道西1-2-21		☎0225-94-2215
一般社団法人全日検石巻現業所	〒986-0855	石巻市大街道西1-7-11		☎0225-23-1713

**●宮城県石巻港湾事務所**

〒986-0845 石巻市中島町17番2号 ☎0225(95)6271

**気仙沼港**

東北運輸局気仙沼海事事務所	〒988-0034	気仙沼市朝日町1-2	気仙沼合同庁舎	☎0226-22-6906
横浜税関仙台塩釜税関支署気仙沼出張所	〒988-0034	気仙沼市朝日町1-2	気仙沼合同庁舎	☎0226-23-1023
宮城海上保安部気仙沼海上保安署	〒988-0034	気仙沼市朝日町1-2	気仙沼合同庁舎	☎0226-22-7084
仙台検疫所大船渡・気仙沼出張所	〒022-0002	岩手県大船渡市大船渡町字赤沢17-3		(ご連絡は仙台検疫所へ)
気仙沼警察署	〒988-0181	気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6		☎0226-22-7171
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部	〒988-0104	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2		☎0226-22-6688

**●宮城県気仙沼土木事務所**

〒988-0181 気仙沼市赤岩杉ノ沢47番6号 ☎0226(22)2622

**●宮城県土木部港湾課**

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 ☎022(211)3211



仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル



Ports of 宮城の港湾  
**MIYAGI**  
 - 2026 -



仙台塩釜港(仙台港区)



仙台塩釜港(塩釜港区)



仙台塩釜港(石巻港区)



仙台塩釜港(松島港区)



気仙沼港



女川港

# 宮城県の港湾の概況

宮城県は、海岸景観に富んだリアス式海岸と多くの河川により、古来より天然の良港と水運が発達してきました。

歴史的には、伊達政宗の命によりローマへ旅立った支倉常長らの慶長遣欧使節、我が国初の近代築港として知られる野蒜港の建設等が知られています。

昭和40年代には、仙台湾に臨む仙台と石巻において、臨海工業・流通ゾーンの形成を目指した大規模な掘込港湾の建設が行われ、今日まで飛躍的な発展を遂げてきました。

本県は現在、国際拠点港湾の仙台塩釜港（仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区）、地方港湾の気仙沼港、女川港、雄勝港、荻浜港、表浜港、金華山港、御崎港の計8港を有しています。

これらの港湾は、県内を縦横に走る鉄道網や東北縦貫自動車道、三陸縦貫自動車道、常磐自動車道、東北横断自動車道といった高速道路網によって、東北各県はもとより首都圏とも直結されていることから、今後ますます整備の進む高速網とコンテナ航路の開設により、全国と世界を結ぶ新しい海陸一貫輸送システムの確立が期待されております。

## OUTLINE OF PORTS AND HARBORS IN MIYAGI

Since ancient times, the land's rich topographical features with complex coastlines and many rivers have enabled Miyagi to build excellent natural ports and waterways.

Among historical developments of local ports and harbors, two events stand out: the Keicho Mission to Europe dispatch under the orders of feudal lord Date Masamune (1567~1636), and led by Hasekura Tunenaga, which sailed out of Tsukinoura Bay an attempt to construct Port Nobiru, the nation's first modern port.

From the mid-1960's through the seventies, Sendai and Ishinomaki built large-scale excavated ports which were aimed at promoting coastal industry and distribution centers.

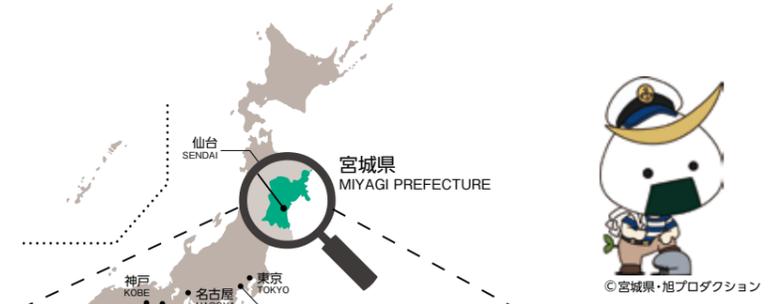
Miyagi Prefecture's one international hub port is Sendai-Shiogama. The seven local ports of Kesenuma, Onagawa, Ogatsu, Oginohama, Omotehama, Kinkasan, and Osaki also contribute dynamically to the waterways traffic in Miyagi.

These ports and harbors are connected not only with all the prefectures of the Tohoku Region but the Tokyo Metropolitan Area through the highway network such as Tohoku Expressway, Sanriku Expressway, Joban Expressway, Yamagata Expressway as well as railways's network.

Plans for expanded highways networks and the opening of container routes in Miyagi will facilitate the formation of worldwide-integrated transportation systems by land and sea.

## 目次

宮城県の港湾の概況.....	2	雄勝港.....	28
荻浜港・表浜港.....	29	金華山港・御崎港.....	30
〈各港紹介〉			
▼国際拠点港湾			
仙台塩釜港.....	4	〈宮城の港湾資料編〉	
仙台塩釜港各港区の役割分担.....	6	県内旅客船定期航路ガイド.....	31
仙台塩釜港仙台港区.....	8	国際拠点港湾仙台塩釜港石巻港区	
仙台塩釜港塩釜港区.....	14	工業用地2区画分譲中.....	32
仙台塩釜港石巻港区.....	18	仙台塩釜港の近年の動向.....	33
仙台塩釜港松島港区.....	22	「慶長遣欧使節」	
▼地方港湾		及び「野蒜築港」.....	34
気仙沼港.....	26	港湾マメ知識.....	35
女川港.....	27	港湾関係官公署等一覧.....	36



# 国際拠点港湾仙台塩釜港



仙台塩釜港は、仙台湾に位置し、仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区の4つの港区からなり、平成24年10月に国際拠点港湾「仙台塩釜港」、重要港湾「石巻港」、地方港湾「松島港」の3港の統合※により誕生した国際拠点港湾です。

仙台塩釜港は、東北地方の政治・経済・文化の中心地である仙台都市圏を背後に擁し、中国・韓国及び極東ロシアをダイレクトに結ぶ国際コンテナ定期航路や京浜港を経由する国際フィーダー航路による充実した国際コンテナ物流網などにより、世界各国と結ばれた東北を代表する国際貿易港です。また、港内には製油所・油槽所や発電所といったエネルギー産業が集積し、東北のエネルギー供給拠点となっているほか、県内への自動車関連産業の集積を背景とした完成自動車の輸送拠点としても重要な役割を担っております。

一方、紙・パルプ工業や木材・木製品製造業、飼料製造業などの工場・事業所が多数立地しており、大型バルク船が寄港する原材料の輸入基地として、背後地域の基幹産業を支える工業港でもあります。

さらには、日本三景である「特別名勝松島」を核として、定期フェリーや大型クルーズ船の寄港などによる観光拠点としての側面もあわせ持っております。仙台塩釜港は、東北の産業・文化の交流拠点として多彩かつ充実した機能を活かし、宮城、東北、日本の飛躍と発展を担う魅力ある港湾を目指してまいります。

※平成24年10月17日、港湾法施行令の改正により国際拠点港湾「仙台塩釜港」の港湾区域に重要港湾「石巻港」及び地方港湾「松島港」の港湾区域を統合し、新たに国際拠点港湾「仙台湾」として港湾区域が変更され、翌18日に宮城県が港湾の名称を「仙台塩釜港」とする旨の告示を行い、国際拠点港湾「仙台塩釜港」が誕生したものとします。

- 自動車専用道路
- 一般国道
- 県道
- 鉄道
- 臨港地区

0 1000 5000m

# 仙台塩釜港各港区の役割分担

仙台塩釜港は、仙台港区・塩釜港区・石巻港区・松島港区の4つの港区で構成され、各港区の強みを生かし、一体的な整備・運営を行っております。国際拠点港湾としてのブランド力を活かし、これまで以上に使い勝手の良い港を目指してまいります。

## 仙台港区 Sendai District コンテナ・ユニット物流の拠点 東北のグローバル港湾

仙台港区は、平成2年のコンテナ定期航路開設以降、取扱貨物量を着実に伸ばし、東北に立地する企業の輸出入を支える拠点として発展してきました。完成自動車輸送の拠点としても重要な役割を担っており、トヨタ自動車株式会社が東北を国内第3の生産拠点として位置付けられていることなどを背景に、今後も取扱量の増加が見込まれます。こうした物流の基盤である外内貿コンテナおよびユニットロードの取扱機能の拡充を進め、国際貿易と国内流通の機能強化に取り組めます。



## 塩釜港区 Shiogama District 地域基幹産業の輸送拠点 地域産業支援港湾

天然の良港である塩釜港区は、地域の基幹産業である水産加工業の原材料輸送拠点であるとともに、重油・石油製品が取扱貨物量の約50%を占めるなど、東北のエネルギー供給基地として重要な役割を担っています。今後も仙台港区との機能分担を図り、小型貨物船に対応したバルク貨物の集約を進め、地域産業を支える港湾機能の強化に取り組めます。また、「マリングート塩釜」を発着地点とする離島航路や松島定期観光船が運航されており、観光産業を支援する機能の強化にも努めます。



## 石巻港区 Ishinomaki District 原材料・燃料の輸入拠点 広域基幹産業拠点港湾

石巻港区は、港湾背後の臨海部に紙・パルプ関連、木材・合板関連、飼料関連産業が集積しており、木材チップや石炭、飼料など原材料の輸入拠点としての役割を担っています。穀物については、国際バルク戦略港湾である釧路港、鹿島港との連携港としての役割も期待されており、今後も大型バルク貨物船に対応した港湾施設の整備や企業誘致を通じ、機能強化に取り組めます。また、近年寄港が続く大型クルーズ船に対応し、受入体制の強化を図ることで、「仙台塩釜港」における観光・交流機能の強化に取り組めます。

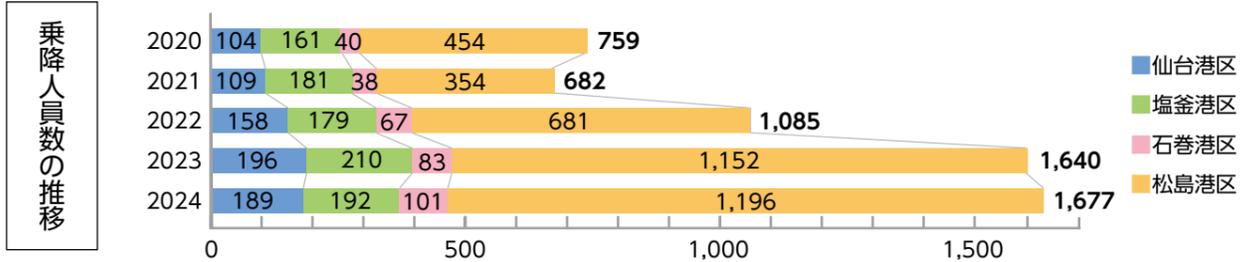
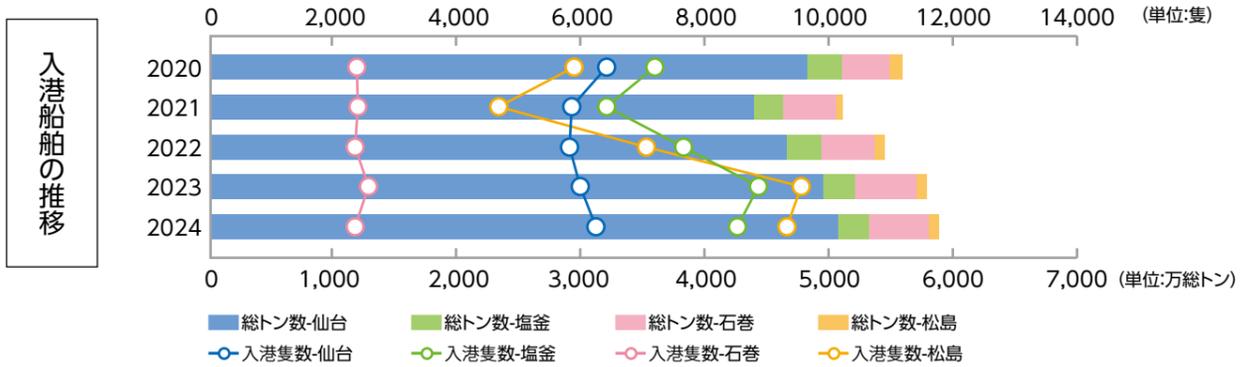
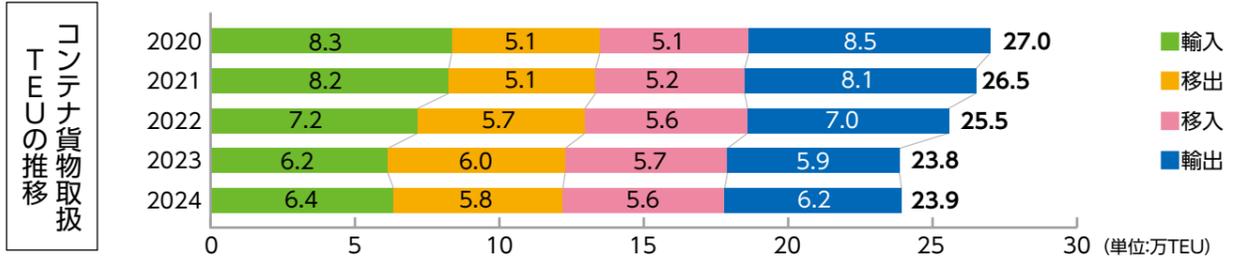
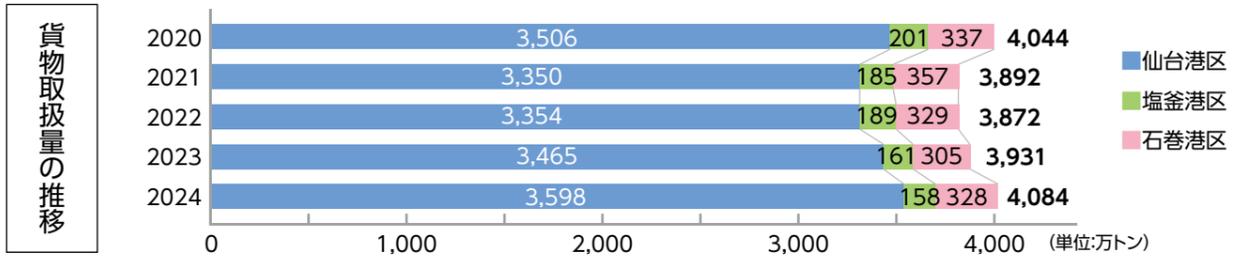


## 松島港区 Matsushima District 日本三景松島を核とした観光拠点 東北を代表する観光拠点港湾

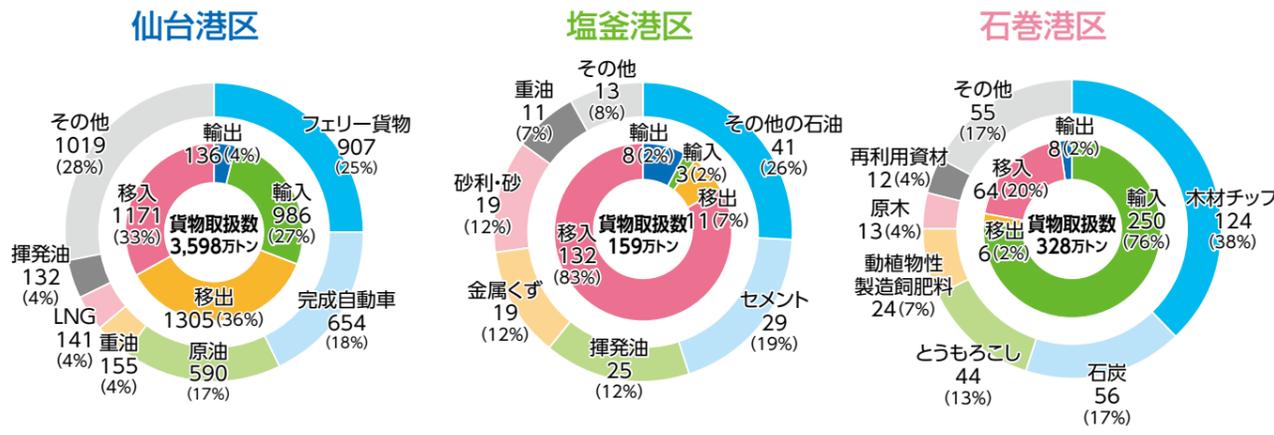
松島港区は、日本三景松島の海の玄関口として、多くの定期観光船が運航されており、観光拠点港湾としての役割を果たしています。今後は、仙台塩釜港のブランド力や高速道路網、仙台空港との良好なアクセスを活用し、大型客船が寄港する仙台港区・石巻港区、旅客ターミナルを有する塩釜港区との連携を図ることで、東北を代表する観光拠点としての機能強化に取り組めます。



## 仙台塩釜港の2024年取扱実績



## 各港区の貨物取扱量内訳 (2024年)





PORT OF SENDAI  
仙台港シンボルマーク  
(仙台国際貿易港整備利用促進協議会)

国際拠点港湾

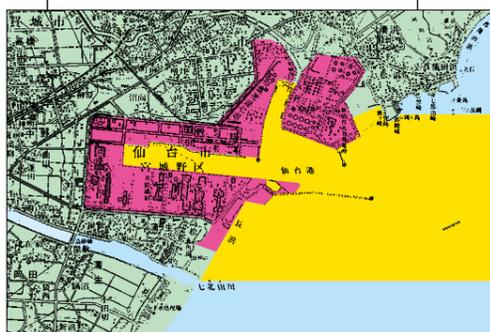
# 仙台塩釜港 仙台港区



PORT OF SENDAI

概要

- 設立/昭和27年9月1日
- 港湾区域告示/昭和42年1月24日
- 重要港湾指定/昭和26年1月19日
- 特定重要港湾指定/平成13年4月1日
- 国際拠点港湾指定/平成23年4月1日
- 開港指定/昭和46年7月1日
- 所在市町村/仙台市・多賀城市・七ヶ浜町



- 港湾区域
- 臨港地区

## 東北のコンテナ・ユニット貨物の拠点 東北のグローバル港湾



### プロフィール

仙台地区は、昭和39年3月に新産業都市「仙台湾地区」の指定を受け、臨海型工業の開発拠点として、同年8月に港湾計画が策定された掘込港湾であり、同42年12月から建設工事が始まった。その後、流通港湾としての必要性が高まったため、同44年3月の計画変更で商港機能を追加し、同46年7月に開港した。

現在、主な係留施設としては、公共ふ頭が14バース（-8.5~-14m）、専用ふ頭がフェリー岸壁を2バース含んだ24バース（-6~-17m）となっており、地域の開発拠点、そしてまた東北地方における流通拠点港湾として大きな役割を果たしてきている。

また、臨港地区とその背後地には工業・流通団地が造成され、多数の企業の立地を見ている。

近年、仙台港区では、船舶の大型化やコンテナ化等の輸送革新及び物流需要の増大に対応するため、外貿コンテナター

ミナルを核とした外内貿物流機能の充実を進めており、平成7年4月から本格的なコンテナ船用岸壁が、ガントリークレーンとともに供用を開始し、平成8年4月には同岸壁背後のコンテナターミナルが竣工し、それとともに、コンテナ定期航路の開港も順調に進んだ。

また、平成13年4月に、東北初の特定重要港湾に昇格したことを機に港名を仙台塩釜港に変更するとともに、同年6月に水深-14mの高砂ふ頭2号岸壁、翌年2月にガントリークレーン3号機の供用を開始した。

平成21年にはガントリークレーン4号機の供用を開始した。

平成22年には、完成自動車及びRORO貨物に対応したふ頭の機能強化を図るため中野地区新モータープール、増深した雷神ふ頭岸壁の供用を開始している。

平成24年10月には、東北を牽引する中

核的国际拠点港湾を目指し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の3港を統合一体化した。翌年6月の港湾計画改訂では、国際貿易や国内流通の機能強化を図るとし、現在コンテナ貨物やユニット貨物の取扱機能強化を進めている。

平成29年12月には大型船に対応した岸壁として、高砂ふ頭2号岸壁の供用を開始した。

高砂コンテナターミナルでは、令和2年4月に、新たな実入りコンテナ用トラックゲート等を含む6ヘクタールのヤードを供用、令和5年3月には空コンテナ用トラックゲートの供用を開始し、より効率的なターミナル運営が可能となっている。

令和6年4月には水深-14mの高砂ふ頭3号岸壁及び4ヘクタールのヤード拡張整備が完了し、大型化している船舶の便数増加への対応が可能となっている。



着工当時の仙台港区

### 仙台港区のあゆみ

- 昭和39年 新産業都市「仙台湾地区」指定を受け、中央港湾審議会第23回計画部会で港湾計画が決定される。
- 昭和42年 工事開始（航路・防波堤・土地造成等）
- 昭和44年 中央港湾審議会第36回計画部会で港湾計画が変更される。
- 昭和46年 第一船入港・開港式挙行（7月）。臨海鉄道開通（東北本線陸前山王駅～東北石油構内）。
- 昭和48年 公共岸壁一部供用開始。フェリー就航（名古屋～仙台～苫小牧）。
- 昭和53年 港湾環境整備事業「みなと公園」開園。
- 昭和54年 保税上屋指定（中野ふ頭第5・6号岸壁背後）。

### Profile of the Port of Sendai

Port of Sendai, also known as the Sendai Bay Area, was designated as a "new industrial town" in March 1964. To develop the area as a central industrial site, plans to build an artificial port were developed in August of that same year. Construction began in December 1967. Because of the growing needs for a distribution center, the plans were revised in March 1969 to enhance the port's role as a commercial port. The port opened in July 1971. Today, the port's main facilities include the 14 public berths (-8.5~-14m) and 24 private berths (-6~-17m). The port plays a major role as a center for regional development and as a distribution base for the Tohoku Region. The back area was developed into an industrial and distribution park, and many companies have located to this area.

In recent years, as the port has been dealing with the increase of large ships and containers, the distribution functions in this area have enhanced dramatically. The operation of gantry cranes and a full-scale container berth began in April 1995. In April of the following year, the construction of a container terminal was completed behind the berths. In addition, regular container routes were successfully established.

In April 2001, the port was named as a specially designated major port and changed its name to Port of Sendai-Shiogama. Furthermore, the No. 2 Takasago Wharf (-14m depth) opened in June 2001 and the No. 3 Gantry Crane began operations in February the following year.

In order to better serve vehicles and RORO ships, a new car park was opened in 2010 in Nakano area. Raijin Wharf, an area that was deepened also opened and began operation. In October 2012, Port of Sendai-Shiogama, Port of Ishinomaki and Port of Matsushima were integrated in order to become the leading international hub port in the Tohoku region. The Ports and Harbors Improvement Plan was revised in June 2013 to reinforce the port's role in international trade and domestic distribution, as well as to reinforce its functions in container and unit cargo management.

In December 2017, Takamatsu Wharf No. 2 opened and became available for use by large ships.

In April 2020, the Takasago Container Terminal yard was expanded by 6 hectares. In March 2023, a new truck gate will be opened, enabling more efficient operations. In April 2024, the Takasago Wharf No. 3 (-14m) and 4 hectare yard expansion were completed and began operation.

- 昭和55年 港則法による特定港指定。
- 昭和56年 開港10周年記念式典を挙行。
- 昭和61年 中央港湾審議会第113回計画部会で「仙台国際貿易港整備計画」が決定される。
- 昭和62年 「未来の東北博覧会」開催。
- 昭和63年 ジブクレーン設置（中野ふ頭第6号岸壁）。保税上屋指定（中野ふ頭第6号岸壁）。
- 平成2年 内航フィーダーコンテナ船就航（大井CT～仙台港間）。
- 平成3年 開港20周年記念事業挙行。泉宮中野上屋完成。
- 平成4年 仙台港中央公園完成。第7回「海の祭典」開催。
- 平成5年 コンテナフィーダー船「清浦丸」就航。
- 平成6年 高砂ふ頭1号岸壁供用開始（4月）。
- 平成7年 ガントリークレーン1号機供用開始（4月）。
- 平成8年 東南アジア航路開設（現在休止中）。北米/日本・アジア/地中海航路開設（現在休止中）。
- 平成9年 高砂コンテナターミナル本格供用開始（4月）。向洋1号ふ頭供用開始。ガントリークレーン2号機供用開始（5月）。
- 平成10年 日本/北米西岸航路開設（4月）。内航フィーダーコンテナ船就航（大黒CT・本牧CT～仙台港間）。
- 平成11年 日本/アジアコンテナ定期航路開設（現在休止中）。内航フィーダーコンテナ船就航（青海CT～仙台港間）。
- 平成12年 日本/韓国コンテナ定期航路開設。
- 平成13年 港則法による特定重要港湾に指定されるとともに、港名を塩釜港から仙台塩釜港へ変更。特定重要港湾昇格記念式典、開港30周年記念式典を挙行。高砂コンテナターミナルが指定保税地域に指定される。高砂2号ふ頭供用開始（6月）。ガントリークレーン3号機供用開始（2月）。
- 平成14年 中国/韓国コンテナ定期航路開設。内航フィーダーコンテナ船就航（清水港～東京港～仙台港間）。
- 平成16年 仙台国際貿易港物流ターミナルオープン。
- 平成18年 仙台コンテナ検査センター完成。高砂コンテナターミナル拡張、供用開始（8月）。
- 平成21年 ガントリークレーン4号機供用開始（10月）。
- 平成22年 中野地区新モータープール供用開始（10月）。雷神ふ頭岸壁（-9m）供用開始（2月）。
- 平成23年 東日本大震災発生（3月）。港則法による国際拠点港湾に指定される（4月）。
- 平成24年 仙台塩釜港、石巻港、松島港が統合し、仙台塩釜港仙台港区となる（10月）。
- 平成26年 横浜税関仙台コンテナ検査センター復旧・韓国コンテナ定期航路2航路開設。中央公園供用再開。
- 平成27年 北米西岸コンテナ定期航路開設（現在休止中）・韓国コンテナ定期航路開設・ロシア極東コンテナ定期航路開設。
- 平成28年 内航フィーダーコンテナ船就航（東京港～仙台港間）・韓国コンテナ定期航路開設。
- 平成29年 高松2号ふ頭供用開始（12月）。
- 平成30年 「みなとオアシス」に認定される（9月）。中国コンテナ定期航路開設（12月）。高砂コンテナターミナル拡張・一部施設供用開始（4月）。
- 令和2年 開港50周年。高砂コンテナターミナル拡張・高砂3号岸壁一部（350mのうち190m）供用開始（4月）。
- 令和3年
- 令和6年

